

2026年度(第41期)事業計画

自 2026年 4月 1日

至 2027年 3月 31日

I 事業方針

本協会の設立目的は、我が国におけるゴルフの健全な普及と振興を図り、もって国民体力の向上、社会・文化の発展並びに国際親善に寄与することである。

今年度の重点事業方針は次のとおりとする。

1. 各地区ゴルフ連盟やプロゴルフ団体並びにゴルフ関連団体、更にはスポーツ庁や地方自治体と協力、連携し、新規ゴルファーの拡大、既存ゴルファーの活性化、ゴルフを通じた健康増進、女性ゴルファーを増やすための施策などのゴルフの普及・振興策に取り組むとともに、ゴルフを通じて国民の幸福と健康維持増進に寄与し、広く社会に貢献する。また、ジュニア世代を含むゴルフ未経験者に対しては、R&Aが推奨する自治体と連携しゴルフに触れ合う機会を創出するコミュニティゴルフの普及に努める。
2. ゴルフの普及・振興を通じゴルフやゴルフ場のイメージアップを図り、ゴルフ振興議員連盟やスポーツ庁、並びに地方公共団体等と協力し、国家公務員倫理規程の改訂やゴルフ場利用税問題等に継続して取り組む。
3. ゴルフ規則の普及のため、ルールセミナー、講習会の実施、規則に関する情報の発信、競技運営者、レフェリーの育成に取り組む。
4. WHS ハンディキャップインデックスの正しい普及と適切な運用を通じて、実力の異なるプレイヤー同士が公平に競技を楽しめるという WHS の最大の魅力をより多くのゴルファーが享受できるように取り組む。
5. コースレーティングシステムに基づく査定の実施と運用を担保するために、地区連盟と連携して査定員の技術向上や人員確保を行っていく。
6. 当協会が主催するアマチュア競技やナショナルオープンの運営の質や価値の向上に取り組む。特に夏季に行われる競技については、気候変動による高温化に対し参加選手の体調面の維持管理や運営方法について対策を講じる。
7. 32年ぶりに日本開催となるアジア競技大会(名古屋)のゴルフ競技においては、プロ団体と連携して選手選考を行うとともに、大会成功のためにIGF、JOC並びに組織委員会と連携し運営協力を行う。
8. 競技情報やハンディキャップ、ジュニア育成に関する事業などをウェブページや動画、SNSにより広く国民に広報し、当協会が取り組むゴルフの普及、振興策への理解浸透を図る。
9. 日本ゴルフ殿堂事業では、広く日本のゴルフ界の発展に貢献した人を顕彰するための表彰制度を制定し、殿堂入りの式典を行う。
10. 我が国のゴルフの史実を正確に振り返る記事と記録の閲覧ができる「GOLFPEDIA」のさらなる充実を図り、日本のゴルフ文化の伝承に寄与する。
11. 日本のゴルフ文化の継承のために、2025年末に閉館したJGAゴルフミュージアムの所蔵品と日本ゴルフ殿堂の顕彰者に関する資料を一元的に管理する方法とともに、ミュージアムの移転先についても検討に入る。
12. 世界で活躍できる選手の育成を目指し、スポーツ庁が策定した「持続可能な国際競技力向上プラン」に基づき、強化プログラムの一層の充実を図る。日本版FTEMモデルを活用し、アマチュアからプロまでを見据えたアスリートパスウェイについては、既存の枠組みを基盤としながら、その健全な運営および推進を行う。特に発掘・育成事業においては、グローバル化を意識した取り組みを通じて、さらなる活性化を目指す。加えて、プロゴルフ団体と連携しながら指導者育成プログラムを整備するとともに、寄付金を含む継続的な資金調達を行い、育成・強化事業の持続可能性と収益性の向上にも取り組む。
13. スポーツ庁が発行した「中央競技団体向けスポーツ団体ガバナンスコード」の内容に沿った組織改革強化を図るとともに、安定した財政基盤の確立のために、特に財務状況の改善のための戦略を強化し実施する。また2027年4月以降の次期中期経営計画の策定に取り組む。

II 事業内容

[1]普及事業

1. ゴルフ振興・普及のための活動
 - (1) ゴルフ振興推進本部を中心に、新規ゴルファーの創造、既存ゴルファー活性化、ゴルフを取り巻く環境の整備のための施策を講じ、ゴルフ振興・普及における旗振りを行う。
 - (2) 国内ゴルフ場来場者数(年齢・性別)など、ゴルフ界の現状を知るためのデータ収集を行う。またゴルフの普及・振興に関わる情報発信を行う。
 - (3) ゴルフを通じて国民の幸福と健康維持増進に寄与し、広く社会に貢献する。健康維持増進の為の「生涯スポーツ」「国民スポーツ」としてのゴルフを社会に認知させ、広く普及させる。
 - (4) R&A が提唱する女性ゴルフ憲章に基づき、女性や家族が楽しめるスポーツの施策に取り組んでいく。
 - (5) 国家公務員倫理規程の改定及びゴルフ場利用税問題等に取り組み、ゴルフ振興議員連盟やスポーツ庁ならびに地方公共団体とも連携しながらゴルフが健全なスポーツとして認知されるようにイメージアップに取り組む。
2. ゴルフ規則の普及
 - (1) ルールセミナー、講習会等を開催、ソーシャルメディアその他の媒体を利用しゴルフ規則の普及を行う。
 - (2) ゴルフ規則に関する情報の共有、勉強会の開催等により各競技団体と連携し、ゴルフ規則に基づく競技運営の普及を行う。
3. ゴルフ規則に関する質疑の審査・裁定
 - (1) ゴルフ規則(アマチュア資格規則、用具の規則を含む)に関する質疑に対して回答または裁定を行う。
 - (2) アマチュア資格復帰申請に対して審査・裁定を行う。
 - (3) ゴルフ用具について、R&A 用具審査手続が円滑に行われるよう R&A と国内メーカーとの連絡を支援し、R&A の日本国内での活動を援助する。
4. セミナーの開催及び講師派遣
 - (1) JGA ルールテストの開催、勉強会の開催、海外スクールへの派遣、レフェリー規程策定等によりレフェリーの発掘、育成を行う。
 - (2) R&A のゴルフ規則委員会、アマチュア資格委員会、エキップメントスタンダード委員会にアドバイザーメンバーを派遣し、提案・調査・研究を行う。
5. アンチ・ドーピング事業
 - (1) 各関連団体と連携しアンチ・ドーピングに関する情報発信と普及・教育啓発に努める。
 - (2) (公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の教育ツールを活用し、カテゴリーに合った教育を実施する。
 - (3) 国際的なアンチ・ドーピング活動の一環として、JADA と連携しドーピング検査(競技会検査)を実施し、ドーピング検査が円滑に実施でき適正に行われていることを選手目線で確認する。
 - (4) 「JGA アンチ・ドーピングガイド」を製作し、ジュニア層を中心に情報提供を行う。
 - (5) アンチ・ドーピングの理念を十分に理解し、将来的にスポーツの価値を社会で体現していくアスリートの育成を目指す。
 - (6) 強化合宿等におけるアンチ・ドーピング研修会に JADA 承認クリーンスポーツエデュケーターを派遣する。

6. ハンディキャップに関する事業
 - (1) 2020年から世界統一のハンディキャップ規則となった WHS ハンディキャップインデックスの日本国内での普及活動を継続して実施していく。
 - (2) 加盟クラブやその他のゴルフ関連団体を対象として、WHS ハンディキャップインデックスを利用することの意義を再確認してもらうための各種資料や情報を継続的に発信していく。
 - (3) 日本国内でのコースレーティング査定について、査定技術の向上と均一化を実現するために各地区連盟のコースレーティング査定委員を対象に全国規模の研修会を開催する。
 - (4) 各地区連盟のコースレーティング査定員への継続的な支援を行うために、R&A/USGA を中心に構成されているハンディキャップ運営委員会(HOC)から最新の情報や教育ツールを入手し、各地区連盟と共有する(オンライン研修を含む)。
 - (5) WHS によるアンダーハンディキャップ競技の普及活動の一貫として、「スポーツ庁長官杯 第10回ゴルフフェスタ全国大会 2026」を(公社)日本パブリックゴルフ協会と共催で開催する。
 - (6) 2027年4月からの新しいハンディキャップシステム(JGA クラブハウス)への移行準備の中で、加盟クラブが利用しているゴルフ場基幹システムとの API 連携の可能性を検討し、クラブでの WHS 利用の利便性が改善するシステム連携の方法を検討する。
 - (7) 2027年4月からの新しいハンディキャップシステム(JGA クラブハウス)で利用可能となるアプリの各種機能を最大限活用できるように機能検証を行う。
 - (8) 2027年度から JGA が主催して開催する WHS によるアンダーハンディキャップ競技(仮称: JGA クラブハウス選手権)の計画と準備を進める。
7. 会員事業
各種会員数の増員と会員サービスの向上を図る。
8. ゴルフの普及啓発に関する普及事業
広報活動を通じて、ゴルフの普及・振興に寄与する。
以下の活動を行う。
 - (1) ゴルフの普及啓発のため、各種媒体を活用して情報を発信する。
 - (2) ホームページや SNS を通じて、ナショナルチームの活動や日本国内で開催される国際競技に関する情報、当協会主催競技情報、ゴルフ規則やゴルフ関連のニュース等、ゴルフに関する幅広い情報を掲載し、広く一般に情報提供を行う。
 - (3) JGA 並びに各地区ゴルフ連盟、ゴルフ関連団体が取り組むゴルフ振興活動を紹介し、「ゴルフと健康」、「女性とゴルフ」に関する情報を掲載する「JGA ゴルフ応援サイト」の運営を行う。
 - (4) JGA 創立 100 周年を記念して開設した「GOLFPEDIA」の記事・写真を更新し史実に基づく日本ゴルフの歴史を紹介する。
9. ゴルフミュージアム事業
ゴルフに関する収蔵品の展示、書籍・資料などの収集と保管により、日本におけるゴルフ文化の発展に貢献する。
以下の活動を行う。
 - (1) 2025年12月に閉館した廣野 GC 内の JGA ゴルフミュージアムの移転先並びに日本ゴルフ殿堂顕彰者に関する資料を一体的に管理する方法を検討する。
 - (2) 学芸員の協力のもと、JGA ゴルフミュージアム収蔵品の調査・整理・リスト化を行う。
 - (3) 事務所に設置した「摂津茂和コレクション」等の書籍を閲覧に供する。
 - (4) 収集書籍の整理と分類、また写真のデジタル化に取り組む。
 - (5) 東京ゴルフ倶楽部資料室と連携して所蔵品についての調査を行い、ゴルフミュージアム所蔵品との有効活用方法を検討する。

[2]育成事業

1. ジュニア普及、発掘育成、強化事業

世界で活躍できる人材を輩出するための一貫育成強化システムに基づき、男女プロゴルフ団体やゴルフ関連団体と協力して、以下の事業を実施する。

(1) 普及事業

- ① 各地区連盟やゴルフ関連団体と連携し、ジュニアのゴルフ普及に必要な施策を検討する。
- ② 各地区連盟の協力のもと JGA ジュニアスクールを開催し、ジュニアへのエチケットやマナーの教育を行う。
- ③ R&A が推進するコミュニティゴルフを、JGA の今後の主要なジュニア普及策として全国へ展開することを見据え、パイロット版のプログラムに取り組む。
- ④ 国内外のジュニアゴルフ普及活動の情報を収集・分析し、将来の JGA ジュニア普及事業の立案を行う。

(2) 発掘育成事業

- ① 地区ゴルフ連盟認定選手のゴルフパフォーマンス向上を目的としたカリキュラムを提供し、選手の強化を支援する。また、地区強化指定選手強化事業のさらなるグローバル化を促進し、事業全体の活性化を図る。

(3) 強化事業

- ① スポーツ庁が提唱する「持続可能な国際競技力向上プラン」に基づき、強化プログラムを展開する。本取り組みでは、日本版 FTEM モデルを活用し、アスリートの発掘・育成・強化を一貫して行うアスリート育成パスウェイの運営・推進を行う。
- ② JGA 認定選手のパフォーマンス向上に必要な要素(技術、メンタル、フィジカル、栄養等)を総合的にサポートするため、スポーツ医学分野の専門家チームと連携し、支援体制の更なる充実を図る。
- ③ 新たな指導者ライセンス制度の構築に向け、(公社)日本プロゴルフ協会、(一社)日本女子プロゴルフ協会、(公財)日本スポーツ協会と連携し、カリキュラムの共同構築に着手することを目指す。

2. 指導者育成事業

ゴルフの普及・発展を目指し、国民スポーツ大会候補選手の育成に従事する者を養成するため、(公財)日本スポーツ協会の「公認スポーツ指導者制度」において独自の養成講習会を企画及び実施し、各都道府県における競技者の指導・強化体制を充実させていく。

[3]全国的各種選手権競技の開催及び後援事業

1. アマチュア競技事業

以下の活動を行う。

- (1) 主催競技の運営、管理。
- (2) 主催競技日程の編成、開催コースの決定、競技規定の作成。
- (3) 以下のアマチュアゴルフ選手権競技を実施する。

- ① 第 19 回全国小学生ゴルフ大会
5 月 4 日(月) 予定参加選手 100 人
我孫子ゴルフ倶楽部(千葉県)
- ② 第 67 回日本女子アマチュアゴルフ選手権競技
6 月 16 日(火)~19 日(金) 予定参加選手 135 人
北海道ブルックスカントリークラブ(北海道)

東日本予選 6月1日(月) 予定参加選手 120人
平川カントリークラブ(千葉県)
西日本予選 6月2日(火) 予定参加選手 120人
岐阜カントリー倶楽部(岐阜県)

- ③ 第110回日本アマチュアゴルフ選手権競技
6月30日(火)～7月3日(金) 予定参加選手 135人
四日市カントリー倶楽部
東日本予選 6月16日(火) 予定参加選手 120人
浜野ゴルフクラブ(千葉県)
西日本予選 6月16日(火) 予定参加選手 120人
よみうりカントリークラブ(兵庫県)
- ④ 第70回日本ジュニアゴルフ選手権競技 Presented by Sky
8月19日(水)～21日(金) 予定参加選手 390人
(男子)15-17歳の部 霞ヶ関カントリー倶楽部(埼玉県)
(女子)15-17歳の部 久邇カントリークラブ(埼玉県) 東・北コース
(男子)(女子)12-14歳の部 千葉カントリークラブ 梅郷コース(千葉県)
- ⑤ 第47回日本シニアゴルフ選手権競技
10月28日(水)～30日(金) 予定参加選手 120人
ザ・カントリークラブ(滋賀県)
- ⑥ 第33回日本女子シニアゴルフ選手権競技
10月29日(木)～30日(金) 予定参加選手 120人
東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ(岡山県)
- ⑦ 第32回日本ミッドシニアゴルフ選手権競技
11月5日(木)～6日(金) 予定参加選手 120人
鮎滝カントリークラブ(香川県)
- ⑧ 第3回日本女子グランドシニアゴルフ選手権競技
11月5日(木)～6日(金) 予定参加選手 120人
小郡カントリー倶楽部(福岡県)
- ⑨ 第32回日本グランドシニアゴルフ選手権競技
11月12日(木)～13日(金) 予定参加選手 120人
伊勢カントリークラブ(三重県)
- ⑩ 第30回日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
11月12日(木)～13日(金) 予定参加選手 120人
日清都カントリークラブ(京都府)
- ⑪ 第30回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
11月18日(水)～20日(金) 予定参加選手 120人
大利根カントリークラブ 西コース(茨城県)
- ⑫ 第16回JGA杯J-sysゴルフ選手権競技
(JGAアンダーハンディキャップ競技)
11月25日(水) 予定参加選手 132人

愛知カンツリー倶楽部(愛知県)

- ⑬ 第 80 回国民スポーツ大会 青森県 ゴルフ競技
 9月9日(水)～11日(金)
 (成年男子) 夏泊ゴルフリンクス(青森県)
 (少年男子) 東奥カントリークラブ(青森県)
 (女子) 青森カントリー倶楽部(青森県)
- ⑭ 日本スポーツマスターズ 2026 石川大会 ゴルフ競技
 9月28日(月)～30日(水) 男子 片山津ゴルフ倶楽部 加賀コース(石川県)
 9月28日(月)～30日(水) 女子 片山津ゴルフ倶楽部 日本海コース(石川県)

2. オープン競技事業

ナショナルオープンとしての価値を高め、更なる発展のために以下の活動を行う。

- (1) 主催オープン競技日程の編成、開催コースの決定、競技規定の作成。
- (2) 主催オープン競技の運営、管理。
- (3) 以下のオープンゴルフ選手権競技を実施する。

- ① 日本女子シニアオープンゴルフ選手権競技 太陽生命 元気・長生きカップ
 5月20日(水)～22日(金) 予定参加選手 120人
 武蔵カントリークラブ 豊岡コース(埼玉県)
 予選 A 3月27日(金) 千葉カントリークラブ 梅郷コース(千葉県)
 予選 B 3月23日(月) 新宝塚カントリークラブ(兵庫県)
- ② 第 36 回日本シニアオープンゴルフ選手権競技
 9月17日(木)～20日(日) 予定参加選手 126人
 玄海ゴルフクラブ(福岡県)
- | | | |
|--------|----------|----------------------------|
| 地区予選 A | 6月22日(月) | 鳥山城カントリークラブ 本丸・二の丸コース(栃木県) |
| 地区予選 B | 7月8日(水) | 芳賀カントリークラブ 南・西コース(栃木県) |
| 地区予選 C | 6月18日(木) | 東松苑ゴルフ倶楽部(栃木県) |
| 地区予選 D | 5月18日(月) | 東名古屋カントリークラブ 西コース(愛知県) |
| 地区予選 E | 5月28日(木) | 芦原ゴルフクラブ 海コース(福井県) |
| 地区予選 F | 5月13日(水) | 小野東洋ゴルフ倶楽部(兵庫県) |
| 地区予選 G | 7月16日(木) | 伊都ゴルフ倶楽部(福岡県) |
| 最終予選 A | 8月24日(月) | 千葉カントリークラブ 川間コース(千葉県) |
| 最終予選 B | 8月24日(月) | 大山ゴルフクラブ(鳥取県) |
- ③ 第 59 回日本女子オープンゴルフ選手権競技
 10月1日(木)～4日(日) 予定参加選手 120人
 宝塚ゴルフ倶楽部 旧コース(兵庫県)
- | | | |
|--------|-------------------|------------------------|
| 地区予選 A | 7月27日(月) | 飯能ゴルフクラブ(埼玉県) |
| 地区予選 B | 5月25日(月) | 我孫子ゴルフ倶楽部(千葉県) |
| 地区予選 C | 6月22日(月) | 富嶽カントリークラブ(静岡県) |
| 地区予選 D | 6月23日(火) | 伊勢カントリークラブ(三重県) |
| 地区予選 E | 7月2日(木) | 高室池ゴルフ倶楽部(兵庫県) |
| 地区予選 F | 6月8日(月) | ザ・クラシックゴルフ倶楽部(福岡県) |
| 最終予選 A | 9月1日(火)
～2日(水) | 袖ヶ浦カンツリークラブ 新袖コース(千葉県) |

開催国 中国
開催クラブ Bayhood International Golf Club No.9
派遣 キャプテン・コーチ・選手 3名

④ アジア競技大会

開催日 9月30日(水)～10月3日(土)
開催国 日本
開催クラブ 春日井カントリークラブ 東コース(愛知県)
派遣 キャプテン・コーチ・男子選手3名・女子選手3名

⑤ APGC シニア選手権

開催日 未定
開催国 マカオ
開催クラブ 未定
派遣 男子選手3名程度、女子選手5名程度

⑥ The Spirit International Amateur Golf Championship

開催日 11月13日(金)～15日(日)
開催国 米国
開催クラブ Whispering Pines Golf Club
派遣 キャプテン・男子選手2名・女子選手2名

ジュニア派遣競技

① APGC ジュニア選手権

開催日 6月17日(水)～19日(金)
開催国 スリランカ
開催クラブ Royal Colombo Golf Club
派遣 キャプテン・男子選手2名・女子選手2名

2. 国際会議・大会への人材派遣

国際会議に役員・委員を派遣し、海外の協会・連盟との関係を保ち国際交流事業を幅広く行う。

本年は、以下の国際会議等に派遣する。

国際会議・レフェリー派遣

① Masters Tournament

開催日 4月9日(木)～12日(日)
開催国 米国 ジョージア州
開催場所 Augusta National Golf Club
派遣 代表1名

② The Royal Junior

開催日 4月16日(木)～19日(日)
開催国 日本
開催場所 ザ・ロイヤルゴルフクラブ(茨城県)
派遣 レフェリー3～4名

③ TOYOTA JUNIOR GOLF WORLD CUP

開催日 6月未定
開催国 日本

開催場所 中京ゴルフ倶楽部石野コース(愛知県)
派遣 レフェリー2名

④ 全米女子オープンゴルフ選手権

開催日 6月4日(木)～7日(日)
開催国 米国・カリフォルニア州
開催場所 リビエラCC
派遣 代表1名・レフェリー1名

⑤ 全米オープンゴルフ選手権

開催日 6月18日(木)～21日(日)
開催国 米国・ニューヨーク州
開催場所 シネコックヒルズゴルフクラブ
派遣 代表1名・レフェリー1名

⑥ 全英オープンゴルフ選手権

開催日 7月16日(木)～19日(日)
開催国 イングランド(UK)
開催場所 ロイヤルバークデールゴルフクラブ
派遣 代表1名・レフェリー1名

⑦ アジア競技大会

開催日 9月30日(水)～10月3日(土)
開催国 日本
開催場所 春日井カントリークラブ 東コース(愛知県)
派遣 代表1名・レフェリー3名

⑧ アジア・パシフィックアマチュア選手権

開催日 10月29日(木)～11月1日(日)
開催国 ニュージーランド
開催場所 Te Arai Links
派遣 未定

⑨ アジア・パシフィック女子アマチュア選手権

開催日 未定
開催国 未定
開催場所 未定
派遣 未定

⑩ IGF (国際ゴルフ連盟) 理事国会議・総会

開催日 未定
開催国 未定
開催場所 未定
派遣 代表1名

⑪ APGC (アジア太平洋ゴルフ連盟) 理事国会議・総会

開催日 未定
開催国 未定
開催場所 未定
派遣 未定

- ⑫ USGA (全米ゴルフ協会) 年次総会
 開催日 未定 (2月末~3月初め)
 開催国 米国
 開催場所 未定
 派遣 代表1名
- ⑬ R&A 規則委員会
 開催日 6月、11月、2月
 開催国 英国
 開催場所 セントアンドリュース/ロンドン近郊/オンライン
 派遣 代表1名
- ⑭ R&A アマチュア資格委員会
 開催日 6月、11月、2月
 開催国 英国
 開催場所 セントアンドリュース/ロンドン近郊/オンライン
 派遣 代表1名
- ⑮ R&A 用具委員会
 開催日 4月、8月、11月、2月
 開催国 英国
 開催場所 セントアンドリュース/ロンドン近郊/オンライン
 派遣 代表1名
- ⑯ WAGR (世界アマチュアゴルフランキング) 会議
 開催日 4月、10月
 開催国 英国/米国
 開催場所 アトランタ/ロンドン
 派遣 代表1名
- ⑰ HOC (ハンディキャップ運営委員会) 会議
 開催日 10月、3月
 開催国 英国/米国
 開催場所 未定/オンライン
 派遣 代表1名
- ⑱ ロレックスランキング会議
 開催日 10月、3月
 開催国 未定
 開催場所 未定/オンライン
 派遣 代表1名

[5]レフェリー資格認定制度

ゴルフ競技を正しく、公平に運営するためのレフェリー制度を構築し、資格認定制度を導入するための推進プロジェクトを継続して行う。

[6]マーチャンダイジング事業

JGA オフィシャルグッズやオープングッズの商品開発・販売を行い、ゴルフの普及や振興に寄与する。

- (1) JGA オフィシャルグッズブランドの確立
- (2) オープン開催倶楽部と大会プロモーションマークの開発
- (3) オープングッズ商品開発・販売を開催倶楽部と連携し活動をする。
- (4) オープングッズ販売を通じ、大会広報活動と連携をする。

[7]日本ゴルフ殿堂事業

広く日本のゴルフの普及及び振興に寄与することを目的に、日本ゴルフ殿堂事業を実施する。

- (1) 日本ゴルフ殿堂において顕彰制度を制定し、顕彰者選考並びに記念式典の開催を執り行う。